

(包紙)

「會見郡中灘筋干鰯改上守役御船手より去卯」

夫々御切紙を以被仰出候之處御支配御役所御船大將香河公
御懸調相違義も有之故障付當六月八日改テ當

御役所より上守役相勤候様御月番築瀬様より被仰渡、同月
退役聞届難被仰付、押而相勤候様御切紙を以被仰渡候得共

児玉兵吉改役料半分宛所務仕候様被仰出驚入」

児玉兵吉義迷惑筋添願仕無拠仕合付

上守役無役料として成り共可相勤候間児玉義

是迄之通毫歩頂戴被仰付候様當暮前

石田氏江迄御歎書差上置事、然ル處

辰九月廿日夕五ツ時御町沢様より御召使至來候、即刻
出勤仕候處別紙之通御切紙を以被仰出候間

群右衛門様御引渡新九郎誠心之段御感心之旨

ニ付御称美被遣難有と御受申上罷帰候事　　」

5—36—1

大谷新九郎

其方義干鰯改上守

役先達而被仰附

置候付已後者浜方

順行致シ大切ニ相勤

可申候、尤御時節柄付

御役料者不被

仰附候得共最初より念

願之義も有之儀候ハ

浜方帰腹第一ニ相勤

可申候、追而ハ

思召も被成御座候間

不正之儀無之様改

役児玉兵吉へ申合

御ベリ合第一ニ出精

相勤可申旨被

仰出候